

平成二十八(二〇一六)年の新春にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年中は「歩む会」の皆さま、ご家族の皆さまには大変にご指導を賜りました。心より感謝申し上げます。

私は、国会議員として15年目を迎えることができました。これもひとえに後援会の方々のご支援の賜物でございます。重ねて御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、野党第一党の参議院国会対策委員長として臨んだ昨年の通常国会は、95日間会期延長した戦後最も長い国会となりました。延長の最大理由が憲法解釈を変更し、集団的自衛権の行使を可能にする「安全保障法制」の制定でありました。しかし、賑々しく報道された安保法制の議論の陰で、その他にも忘れてはならない重要案件が存在しました。労働者派遣法の強硬採決、TPP(環太平洋パートナーシップ)協定交渉、消費税の軽減税率、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の8兆円損失問題…。これらに共通する政治的意図は「経済成長を優先する」という安倍総理の方針ですが、同時にすべてに共通する政治的手法は、説明責任は最小限にして(つまりは国民や国会に情報を出し惜しみし)、官邸の腕力と与党の数の力で強引に押し通すというものでした。

声を力に! 「ひらやま佐知子」さんが大きな挑戦へ!

参議院議員通常選挙 公認内定候補者決定!



12/22 常任幹事会にて決定。さあ、スタートです!



12/23 県庁での記者会見。榛葉選挙委員長から経緯説明



フレッシュな思いで挑戦! ひらやま佐知子さん

「ひらやま佐知子」さんは、平成11年からNHK静岡放送局のキャスターとして、主に夕方の報道番組「たっぷり静岡」を担当されたおなじみの方です。また県内各地取材に出向き、お年寄りや働く女性、若者など多くの声を聴き、テレビを通じてその声を届けてきました。フリーアナウンサーになってからも、テレビやラジオ出演のほか、企業研修での講演や各種イベントなどでの司会など多彩な活躍をされています。

「ひらやま佐知子」さんは記者会見で、「これまでの経験を活かし“聴いて伝える立場”から、“そのことを実践する立場へ”私自身チャレンジしてみたい。多様性が認められる社会を創る一員になりたい」と強い決意を述べられました。

県内各地を歩いてきた「ひらやま佐知子」さんだからこそ、実践できる即戦力として、私は大きな可能性を秘めた人物だと確信しています。参議院議員は多角的な視野と冷静な判断力が必要とされます。皆様からの声を力に! フレッシュな新人「ひらやま佐知子」さんに大きな信頼と期待が得られるよう、共に頑張っていきたいと思います。 榛葉賀津也



私も「経済成長」はとても大事だと思えます。経済成長なくして、財政再建や持続可能な社会保障制度などは成り立ちません。しかし、我々には忘れてはならないことがあります。それは政治の目的は「国民の幸福と生活の安定」であり、経済政策をはじめとするすべての政策はその目的達成のための手段であるということです。安倍総理のやり方はこの「目的」と「手段」が逆転しているように思えてなりません。

例えば、働き方の問題。アベノミクスは「成長戦略」や「デフレ脱却」を掲げながら、その本質は「使い勝手の良い労働力」を作り出すことにあるように思えるのです。我が国で働く40%もの勤労者が非正規雇用となってしまうという状況。政治が目指さなくてはならないことは、非正規から正規社員になりたい方々の想いを実現させ、社会保障や家族の在り方など、自分の生き方を選択できるようにすることです。しかし、実

「ひらやま佐知子」さんが公認内定候補者に決定しました。「ひらやま佐知子」さんならびに全国比例区の多くの仲間たちの勝利のために、私自身全力を注いで参ります。本年もご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

参議院議員 榛葉賀津也

例えは、働き方の問題。アベノミクスは「成長戦略」や「デフレ脱却」を掲げながら、その本質は「使い勝手の良い労働力」を作り出すことにあるように思えるのです。我が国で働く40%もの勤労者が非正規雇用となってしまうという状況。政治が目指さなくてはならないことは、非正規から正規社員になりたい方々の想いを実現させ、社会保障や家族の在り方など、自分の生き方を選択できるようにすることです。しかし、実際の政策は「労働者派遣法」の改正も見ても分かるように国民の望む方向とは真逆に進んでいきます。「ホワイトカラー・エグゼンプション」改め「高度プロフェッショナル制度」の導入を含む「労働基準法の改正案」も顕著な例です。残業をしても労基法に定められた残業代を支払わなくても済む法律など本当に必要なのでしょうか。一九四四年のILO宣言には「労働は商品ではない」と明確に謳われています。国民にとって「働くことは人生そのもの」なのです。

私は、皆さまの代表として、今まで以上に言うべきことはしっかり物申し「集めた税金を使う側ではなく、働いて税金を払う側」の政治の実現のために、全力で努力して参ります。

最後に、今年の夏には「第24回参議院議員通常選挙」が行われます。私自身参議院民主党の選挙対策本部事務局長として、また民主党静岡県連の選挙対策本部長として絶対に負けられない戦いになります。

このたび地元静岡では期待の新人「ひらやま佐知子」さんが公認内定候補者に決定しました。「ひらやま佐知子」さんならびに全国比例区の多くの仲間たちの勝利のために、私自身全力を注いで参ります。本年もご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

賀津也の部屋

「シンバ-サン! 日本に来て立派なホテルに泊まっているけど、食べるものがないから、ずっとバナナばかり食べてますよ…」イスラエルから来た私の友人であるユダヤ人から、いきなりストレートな苦情が来た。「日本のホテルはとっても立派、コンベンション(会議場)施設も素晴らしい、交通インフラも充実している…。でもね、食事情は最低だね。海外からの訪問者をもてなす最低条件すら整っていないよ。これでは日本は観光立国になてなれませんね!」日本での食事を楽しみにしていた友人は、半分怒っていた。「食べ物の恨みは恐ろしい」というのは万国共通らしい(笑)。

材が当たり前のように選択できるようになっているし、飛行機の機内食でも「コシェル」や「ハラール」適合の料理を注文できる。海外の主要都市ではフレンチやイタリアン、スペイン料理や中華料理なども様々な宗教の人々が戒律を守って食事を堪能できるように調理が工夫されている。しかし、日本では首都で世界の大都市であるはずの「東京」ですら、ユダヤ教が「コシェル」を守って食事ができるレストランは、ほぼゼロである。ユダヤの友人が「東京は国際都市の基準を満たしていないし、日本人の言う“おもてなし”は日本基準の自己満足だ」というのは手厳しいが、実はありがたいアドバイスかもしれない。

日本人の感覚ではあまり理解できないかもしれないが、世界には宗教の戒律の中で「食事」に対する規律を厳格に守らなければならない人々が多く存在する。ユダヤ教の食の戒律は「コシェル」といって、イスラム教の戒律「ハラール」よりも厳しく、宗教上食べて良いもの、食べられないものが厳格に存在する。しかも宗教上食べても良い食材であっても、その調理方法が「コシェル」として適合しなければ食べられないし、肉類であればその処分方法までも厳しく決められているのだ。

国土交通省は「VISIT JAPAN」キャンペーンで海外からの観光客を呼び入れようと躍起になっているし、農林水産省は「和食文化」を世界に発信しようがんばっている。来年は主要国首脳会議・サミットが三重県の伊勢志摩で開催され、その後は「ラグビーワールドカップ」と「東京オリンピック」がやってくる。ハコモロやインフラだけを「立派」にするだけでなく、宗教的価値観や食文化などに対する理解といったソフト面の充実が不可欠になっている。我が県の地場産業に目を向けても、この点に成長のヒントがある。静岡の「お茶」も少しずつだが確実に輸出のシェアが拡大しているが、「伸びしろ」は、まだまだある。ユダヤ教の「コシェル」認定などを受けることによって、いかなる宗教の人々も安心して飲める健康飲料として「日本の静岡茶」から「世界の静岡茶」に躍進する可能性が更に大きくなるのではないだろうか。

海外では多くのレストランやスーパーで「コシェル適合」、「ハラール適合」や菜食主義者への「ビーガン」の食事や食

2015年後半 地元 活動報告

8/22(土) 川根木曜会グラウンドゴルフとバーベキュー

川根の仲間の皆さんが開催している川根木曜会グラウンドゴルフとバーベキューにお誘いいただいた。皆さんとの語りいで、私自身リフレッシュすることができた。



【家山駅前ふれあい広場】

9/27(日) 歩む会主催 グラウンドゴルフ大会



毎年恒例のしんば賀津也と歩む会主催のグラウンドゴルフ大会。開始直前まで降っていた小雨が止み、200名を超える皆様が一斉にスタート。菊川・小笠・御前崎をはじめ川根などからもご参加をいただき、楽しい大会となった。



【小笠グラウンドゴルフ場】

10/27(火) 藤枝市立岡部小学校での講演



修学旅行に行く6年生50名を対象に、国会の役割や仕組みなどについて事前勉強の講師をさせていただいた。当日はその効果もあり、子どもたちはとても熱心に興味深く見学できたことと思う。

11/6(金) 東濃地科学センター【瑞浪超深地層研究所】視察

岐阜県瑞浪市を訪れ、原子力発電環境整備機構(NUMO)から高レベル放射性廃棄物の最終処分についての説明を受けたのち、日本原子力研究開発機構の東濃地科学センターを視察。深度300m、500mの2段階で続けられている様々な地層科学研究は、将来に向け大きな期待が寄せられている。



【地下300mの研究施設にて】

11/7(土) 歩む会役員視察旅行

役員有志による視察旅行を開催した。今年7月に「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産に登録された蘆山反射炉を始め、浄蓮の滝など伊豆の名所を巡った。改めて伊豆の素晴らしさを感じる有意義な視察となった。



【伊豆の国市「だるま」様にて昼食】

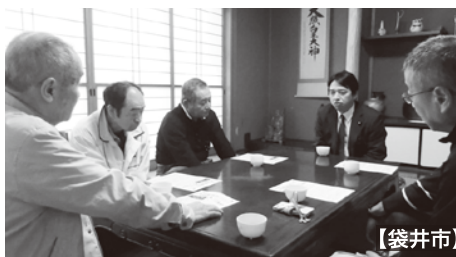
11/8(日) 静岡県教職員組合 街頭キャンペーン

教育は国の最も大事な柱のひとつである。子どもたち一人ひとりが等しく、豊かに学べる環境を創るために、国政の立場から全力を尽くしていきます。



【静岡市青葉イベント広場】

11/20(金) 座談会 in 浅羽



初当選の頃からご支援を頂いている皆様と座談会を開催した。国政報告に加え、参加者の本音をしっかりと聴かせていただくことができた。今後の活動に生かしていきたい。

【袋井市】

11/21(土) 第11回御前崎市大産業まつり

会場には様々な地場産品が並び、多くの皆さんで大変な賑わいを見せていた。地域から発信する大切さを感じる、御前崎市を挙げての一大イベントを満喫させていただいた。



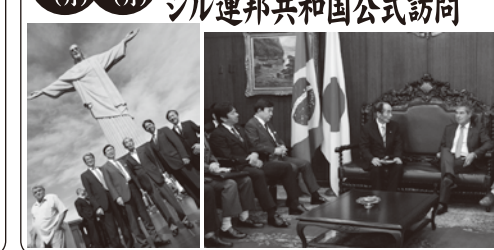
【御前崎市役所】

国会発 東 奔 西 走

7/23(木) JAMものづくり国会議員懇談会 設立総会



10/5~10/12(月) 参議院副議長に同行し、ブラジル連邦共和国公式訪問



10/29(木) 母国訪問海外日系人歓迎パーティにて多くの皆様と交流



8/4(火) 連合主催、労働者保護ルール改悪阻止を求める院内集会



【6/12議員会館前にて】

10/21(水) 表敬訪問



アンゴラ共和国クスマ大臣

11/12(木) 自動車総連の方々から税制についての要望



8/16(日) 種子島宇宙センターを視察



【星出宇宙飛行士とともに】

11/17(火) 表敬訪問



東ティモール民主共和国イジリオ大使

11/26(木)~11/30(月) フィリピン共和国ダバオ市政治経済事情視察



【ダバオ市長】

8/18(火) 世界に通用する静岡を目指し、静岡県庁の方々がユダヤ教の「コシエル」について国会でヒヤリング



10/23(金) 文部科学・外務・防衛部門合同会議



12/3(木) 静岡県農業会議の方々による要請活動



8/27(木) 全日本ろうあ連盟・静岡県ボランティア協会の方々による陳情



10/26(月) JR連合国会議員懇談会



【JR九州視察】

12/10(木) 電機連合「社会に貢献する電機産業を考える会」発足式



国政報告会 入場無料 in 菊川 第15回

in 富士宮

~野本貴之市議を囲んで~

日時

1月30日(土) 18:30~19:30

会場

富士宮駅前交流センター
きらら多目的ホール
(富士宮市中央町5-7)

in 富士

~小池義治市議を囲んで~

日時

1月31日(日) 10:30~11:30

会場

富士市文化会館
ロゼシアター第2会議室
(富士市蓼原町1750)

日時 2月20日(土) 14:30開演(13:00より受付)

会場 菊川文化会館アエル 大ホール (菊川市本所2488-2)

講師 鈴木貴子衆議院議員 (鈴木宗男元衆議院議員長女)



参院選公認内定候補者「ひらやま佐知子」さん来る！
第15回となる地元菊川での国政報告会です。多くの皆様のご参加をお待ちしています！

9/27(日) 戦後最長となった第189回通常国会会期末、国対委員長として報告ならびに記者会見を行う



【氏王克】

12/3(木) 石井国土交通大臣へ税制改正要請



【石井国土交通大臣へ税制改正要請】

今年も多くの子供たちが国会を訪問

